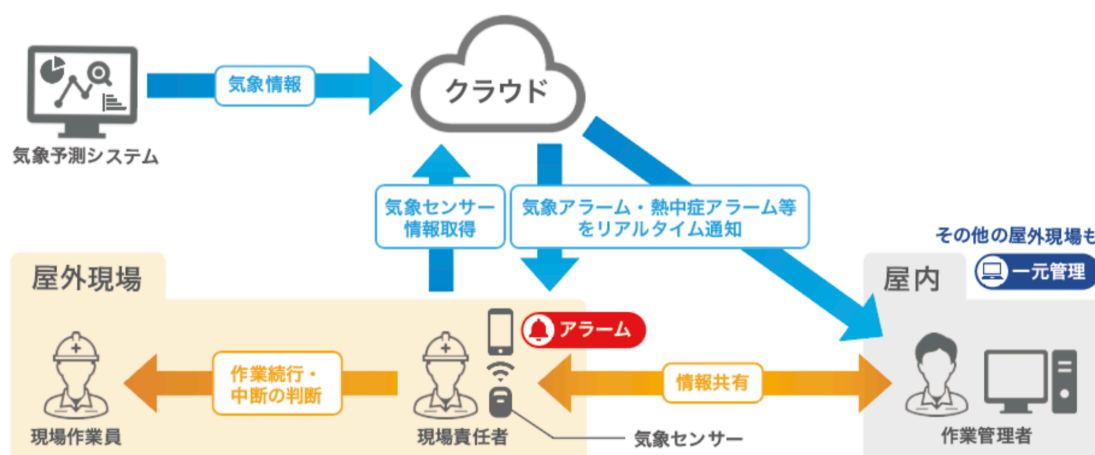


<報道発表資料>

KDDI 株式会社  
株式会社ウェザーニューズ

## KDDI とウェザーニューズ、 天候を予測して作業現場の安全を管理する IoT クラウドサービスを開始

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：草開 千仁、以下 ウェザーニューズ）と KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠、以下 KDDI）は、2018年7月6日より、天候を予測して建設現場など屋外で働く作業員の安全管理を目的としたIoTクラウドサービス「KDDI IoT クラウド ～従業員みまもり～+天候予測」（以下、本サービス）の提供を開始します。



<サービス構成図>

近年、1時間降水量50mm以上のゲリラ豪雨は増加傾向（注1）にあり、竜巻、雷などを含めた天候の急変から屋外作業員の安全を守ることは大きな課題となっています。

本サービスは、作業員が携行する気象センサーにより取得する気象情報（注2）とウェザーニューズが提供する1kmメッシュの超局地的気象予測モデルを組み合わせることで大雨などの悪天候を予測し、作業現場単位で事前にスマートフォンへアラームを配信します。

また、各作業現場における作業員の入場状況や気象アラームが可視化された管理画面を提供することで、オフィスで複数の現場を管理する作業管理者は、作業現場の気象状況を一元的に把握することが可能になります。



気象センサー

ウェザーニューズとKDDIは、2018年3月以降、株式会社メディアクリエイトコミュニケーション

ンズの合計66の作業現場で、実際の屋外や高所での作業における実証実験を行いました（注3）。その結果、期間中に約400件のアラームを通知して適切な作業判断に活用されました。

また、このたび実証実験で提供した大雨のアラーム機能に加えて、作業現場でのニーズが高い熱中症(注4)、強風、雷、低体温症、気象警報（注5）のアラーム機能を追加して提供を開始します。

本サービスは、アイレット株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：齋藤 将平)がシステムを構築し、ウェザーニューズが「KDDI IoTクラウド API Market」上に提供する超局地的気象予測モデルのAPIを利用してサービスを提供しています。

KDDI IoT クラウド ～従業員みまもり～

( <http://www.kddi.com/business/mobile/m2m-solution/iot-cloud-mimamori/> )

詳細は別紙をご参照ください。

以 上

## 1. 主な機能

### (1) 気象アラーム通知機能

作業現場における天候の急変を予測し、お客様のスマートフォンに対して気象アラームを通知します。アラームの種類は、大雨、熱中症、強風、雷、低体温症、気象警報があります。

### (2) 作業状況の報告機能

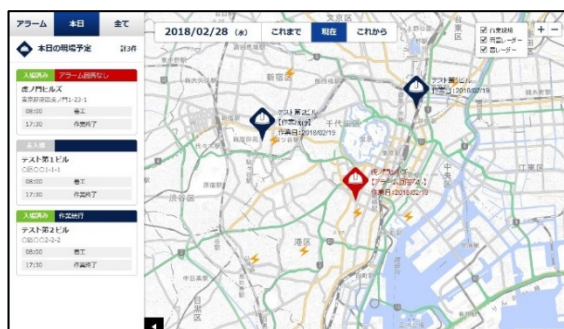
作業現場での作業開始、終了時間の報告、および気象アラームの通知に対する、作業続行、中止の状況判断をオフィスで複数の現場を管理する作業管理者へ報告することができます。

### (3) 気象センサーが測定可能なデータの種類

本サービスでお客様に提供するIoTデバイスでは作業現場の温度、湿度、気圧、照度、紫外線、騒音を測定することができます。



<気象アラーム画面>



<オフィスでの管理画面>



<気象データ取得画面>

## 2. 提供料金

### (1) 月額費用

プラン A(1~30 アカウント)	60,000 円
プラン B(31~60 アカウント)	100,000 円
プラン C(61~90 アカウント)	150,000 円

※すべてのプランには、気象センサー20台分の提供料金が含まれます。(気象センサーは追加購入可能)

※スマートフォンは別途契約が必要です。

### (2) 個別費用

初期費用	120,000 円/契約
------	--------------

### 3. 提供日

2018年7月6日

### 4. お問い合わせ

KDDI 法人営業担当者または法人お客さまセンターまでお問い合わせください。

<KDDI 法人お客さまセンター>

 0077-7007 (無料)  0120-921-919 (無料)

受付時間：9:00～18:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

(注1) 気象庁「アメダスで見た短時間強雨発生回数の長期変化について」より

(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/heavyraintrend.html>)

(注2) 気象センサーが取得した情報は、BLE (Bluetooth Low Energy) によりスマートフォンに送信され、スマートフォンからクラウド上に送信されます。

(注3) 気象予測と作業現場の気象情報を組み合わせた安全管理ソリューションの実証実験を開始(2018年1月29日)

(<http://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2018/01/29/2917.html>)

(注4) 気象センサーから取得した情報を元に、暑さ指数(WBGT)に基づき、熱中症の危険度を算出しています。

(注5) 気象庁から発表される大雨、洪水、高潮など気象等に関する警報。

※表記の金額は全て税抜です。

以 上